

— シンポジウム開催 25 周年記念 —
第 26 回 JUSE パッケージ活用事例シンポジウム

参加費
無料

価値を生むための データ分析の考え方

2016 年
12 月 8 日

記念 講演

統計的品質管理を『それ以外の領域』で使うには 西内 啓氏 (株式会社データビークル 取締役)

統計学を使った品質管理は戦後長らく日本企業の品質と生産性を支える大きな武器でした。

しかし、ビッグデータという言葉に注目が集まる昨今、統計学がビジネスに役立つことができるのは品質管理だけの領域に留まりません。

本講演では品質以外の領域においてもどのようなデータをどう分析すれば価値を生み出すことができるのかについてお話ししたいと思います。



西内 啓氏

著書の『統計学が最強の学問である』は40万部を突破したベストセラー。ビジネス書大賞2014では大賞を受賞。

事例 報告

加藤 幸雄 氏 (日野自動車株式会社 シャシ機構設計部)

鈴木 通溶 氏 (元・トヨタ車体株式会社)

飯田 一郎 氏 (神戸山手短期大学 教授)

大川 嘉一 氏 (株式会社アーレスティ 品質管理部 品質管理課) ※順不同

表彰 受賞講演

第13回「JUSE-StatWorks活用エキスパート賞」の表彰

受賞者:株式会社アーレスティ 取締役専務執行役員 製造本部長 野中 賢一 氏

製品紹介

StatWorks/V5の新機能およびサービスについて

株式会社日本科学技術研修所 数理事業部

※プログラムの内容は2016年9月現在予定のものです。予告なく変更されることがあります。

司会進行

佐野 雅隆 氏

千葉工業大学 准教授

日時 2016 年 12 月 8 日 (木) 9:30 ~ 16:30 受付開始 9:00

会場 京王プラザホテル 南館 4 階「扇」

JR・私鉄・地下各路線「新宿駅」西口より徒歩 5 分 / 都営大江戸線「都庁前駅」B1 出口すぐ

定員 200名 事前にWebフォームからお申し込み下さい(定員になり次第締め切り)

※お申込は原則、1社につき2名まで(保守契約者は5名まで)とさせていただきます。

保守契約者は申込の際に、申込フォームの通信欄に保守契約者番号の入力をお願いします。

本シンポジウムの詳細, お申し込みは下記Webページへ

<http://www.i-juse.co.jp/statistics/jirei/sympo/26/>



JUSE-PACKAGE SOFTWARE PRODUCTS

JUSE 株式会社 日本科学技術研修所

(株)日本科学技術研修所 数理事業部 セミナー事務局

151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11

TEL ▶ 03-5379-1403 FAX ▶ 03-5379-5404

URL ▶ <http://www.i-juse.co.jp/statistics/>

統計的品質管理を『それ以外の領域』で使うには

株式会社データビークル 取締役 西内啓氏

統計学を使った品質管理は戦後長らく日本企業の品質と生産性を支える大きな武器でした。しかし、ビッグデータという言葉に注目が集まる昨今、統計学がビジネスに役立つことができるのは品質管理だけの領域に留まりません。本講演では品質以外の領域においてもどのようなデータをどう分析すれば価値を生み出すことができるのかについてお話ししたいと思います。

制動移行発生メカニズムの解明

日野自動車株式会社 シャン機構設計部 加藤幸雄氏

制動時の車両移行は、路面環境、車両仕様等の要因によって起こりうる車両挙動の一つである。トラック固有の様々な仕様により変化する各要因の寄与度を品質工学にて明確にし、制動移行のメカニズム解明を行った事例です。

“実務に SQC を活用しよう！” 技術者のための SQC

～シミュレーション技術とSQCと統計解析ソフト～

元・トヨタ車体株式会社 / 元・アラコ株式会社

QCテクニカルコーディネーター (Quality Control Technical Coordinator) 鈴木通溶氏

実務に SQC を根付かせるためには“仕事に SQC がつく” 概念形成が必要であり、製造～設計～TQM～DRBFM 推進の業務経験を基に、単なるルーチンワークとしての Tool ではなく、固有技術の財産形成にも寄与できる、「開発業務遂行 Tool」としての SQC のあり方について報告する。

統計的手法を活用した加工条件の最適化

株式会社アーレスティ 品質管理部品質管理課 大川嘉一氏

ある製品の機械加工面に段差が発生、この段差の発生原因を解明し、生産性・品質の両面から最適生産条件を見つけ出した事例です。要因配置実験を用いて要因を特定、応答曲面法により最適条件を見つけ出し、管理図による工程管理を実施しています。データ解析には、StatWorks を活用した事例です。

官能評価データの嗜好性と多様性

神戸山手短期大学 教授 飯田一郎氏

官能評価データの特長として被験者（パネル）が多様性をもつこと、特に「嗜好要素」が背景にあり、実験設計や結果に影響を及ぼす点が挙げられる。これらを可視化するためにデータ解析を活用したいくつかの事例と留意点について解説する。

StatWorks/V5 の新機能およびサービスについて

株式会社日本科学技術研修所 数理事業部

弊社では、2016 年度に JUSE-StatWorks/V5 に MT システムの両側 T 法や RT 法の機能を追加いたします。さらに、StatWorks/V5 の英語版を発売いたします。また、現場でどのような統計手法を使用したらよいかを迷った時に、これをナビゲーションするシステムを公開いたします。本発表では、これらの新機能やサービスについてご紹介いたします。

第 13 回「JUSE-StatWorks 活用エキスパート賞」の表彰

受賞講演『アーレスティにおける人材育成と StatWorks の活用』

受賞者：株式会社アーレスティ 取締役専務執行役員 製造本部長 野中賢一氏

当社では、生産性改善を目標に、技術に関係する人たちの人材育成を進めています。品質管理の専門家にご指導を頂きながら、固有技術を上手に使う管理技術を向上させるために、StatWorks を活用しています。